組合員数107,293人
支部数　943
読者数　66,540人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第389号　2022年5月15日（日）
（通巻第588号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊1部100円（組合費に含む）
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

今日そちら様のチラシを見て どれほど勇気づけられたことか

中央本部に届いた一通の手紙

年金者組合のチラシを見た未加入者から中央本部に次のような激励の手紙（埼玉・鶴ヶ島局出）が届きました。

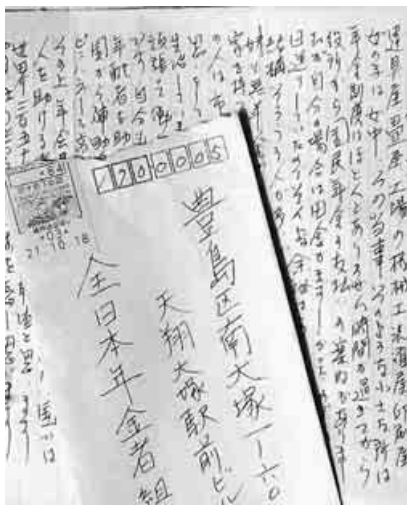
今日そちら様のチラシを見て、どれほど勇気づけられたことか。力になってくれるところがあるんだと感謝しました。

自分は戦後食糧難の時代に育ち、中学校卒業後すぐに口べらしのために建設職人にさせられました。その当時の中卒者の仕事は建設業、工員、印刷、女子はお手伝いなど、小さなところが多く年金は未加入でした。

「国民年金のお知らせ」がきましたが、実家へ毎月の仕送りもあり、加入する余裕はありませんでした。兄も姉も加入できず無年金です。

自分もシルバー人材センターで働いていますが、最低の賃金です。中には、早朝のトイレ掃除2時間というきつい条件なのに時給900円、一カ月（20日）働いても3万6000円という人もいます。こういう高齢者を助けるという考えのない指導者がまかり通っている日本です。

そのような中で高齢者のために頑張っている組織があることを知り、いくらか元気が出ます。何もできない貧乏人ですが、応援しています。



年金者組合が参院選挙方針

減らない年金制度を

11両日の中央執行委員会と続く全国委員長会議で参議院議員選挙闘争方針を決定しました。

年金者組合は4月10、

年金引下げに反対し、「マクロ経済スライドを廃止し、減らない年金制度確立」、「最低保障年金制度創設」の実現（当面、基礎年金の国庫負担分3・3万円を全ての高齢者に支給すること、年金支給の毎月支給）を目指します。

また、憲法9条改憲に反対し、平和外交を求めて運動します。

「立憲主義を守る、改憲を許さない」を掲げる政党と広範な諸団体と統一候補の支援については、無所属の統一候補が実現した選挙区では統一候補への投票の呼びかけや支援を行います。また、市民と野党の統一候補が一政党の公認候補となった場合、要求実現の立場から検討・議論をつくして合意できた場合には、積極的に支援し勝利を追求します。

統一候補が確立できない場合や、組織内合意に至らない場合でも、「立憲主義の回復」や改憲反対など各政党や候補者の政策が年金者組合の重点要求と合致しているかどうか情報提供を行い、積極的な投票を呼びかけます。

重点要求

①社会保障・福祉の切り捨て路線を転換して、憲法25条に基づく社会保障・福祉が充実した社会
②人権を尊重し、自己責任よりも社会的連帯を重視し、お互いに支え合う社会
③核兵器のない平和な社会
④環境破壊をやめさせ、自然にやさしい社会
⑤社会的弱者や貧困をなくしジェンダー平等の社会
⑥雇用、営業、住まい、暮らし、高齢者も若者も安心して生活できる社会の実現

「入りたいのですが」

仲間ふやし月間スタート 4-5月

年金削減抗議のビラに電話

奈良県本部の4月15日ＪＲ王寺駅南口での宣伝行動。用意したビラ100枚を20分でまき、コピーの100枚もまき切りました。（加藤勇）

千葉・成田支部が地域配布した「0・4%削減」抗議、中止要請のチラシを見て、県本部事務所に「入りたいのですが」と1本の電話がありました。

住所、氏名、電話を聞き、金丸県本部書記次長と成田支部役員が2人で自宅訪問しました。電話された女性は出身地やいろいろな話をされ、加入申込書を書きました。「1枚のチラシ」が女性の心を動かしました。

目標は70人

茨城県本部

茨城県本部は4月7日、水戸で支部代表者会議を開催、鴨志田書記長が1600人組織実現を呼びかけました。「目標4人のうち2人は確約が取れた」（日立支部）など積極的な発言があり、目標70人をやりきることを意思統一しました。

5月、6月の「仲間ふやし月間」がスタートしました。ぜひ知り合い、旧友に「年金者組合に入りましょう」と声をかけてください。

風雪

▼「あれだけ仲が良かったら（日本が攻撃を受けた場合）米国は絶対に報復するだろうと（他国は）思う。（トランプとの）ゴルフは抑止力のためにやっていた」。さすがはアベさん、ヨミが深い。

▽こういえば、もっとよかった。「とらふぐ刺し身や手まりずし、長萩（ちょうしゅう）和牛のシャトーブリアンのステーキ、アンコウの唐揚げ……ボクの故郷で接待したから、ウラジミールは日本には攻めてこない。あれも抑止力のため」、と。

▼笑っていられない。首相当時、ロシアのクリミア併合に甘い対応をし、故郷で「おもてなし」をしたのは棚に上げて、「中国が台湾に侵攻したら米国は一戦交えろ」とたきつける。危機を高めて日本の軍拡・改憲をさらに進めようという魂胆だ。

▽アベさんが黒幕の「国を守るため」という軍拡は大企業とアメリカの軍事企業の儲けが目的の。「愛国・国防ラッパ」に踊らされまい。